

バリウム検査を受けられた患者様へ -検査後の案内-

検査後、排便困難による合併症を防ぐため、早めにスムーズな排便を促してください。

【水分摂取・食事について】

バリウムを早めに排泄することが重要ですので、検査当日はお水やお茶等を普段より多めに摂取してください。水分摂取量が少ないと体内の水分が不足し、便が固くなります。

翌朝、コップ一杯の水を飲むことで、腸が刺激され、腸の運動が活発になります。

アルコールは利尿作用により腸内の水分を奪うため、バリウムが固まりやすくなります。バリウムが排出されるまで、摂取は控えてください。

食事については特に制限はありません。野菜等の食物繊維は排便を促しますので、積極的な摂取をお願いします。

【下剤について】

当院では、検査後にバリウムの排便促進の為、滴下型緩下剤入りの水を服用していただきます。下剤の効果は個人差ありますが、2～6時間後にバリウム便の排泄となります。

【排便について】

服用したバリウムは白い便として排便され、通常便の色に戻るまで、1～2日要します。

バリウムが長時間腸内に残りますとバリウムが固くなり、排便されにくくなります。極まれに腸閉塞や消化管穿孔などの重篤な合併症が生じる恐れがありますので、2～3日排便がない場合や検査後腹痛・腹部膨満感等がある場合は、担当医へ連絡してください。

【その他】

入浴や運動制限については特に制限はありません。

【問い合わせ先】

国立国際医療研究センター病院
〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
代表：03-3202-7181
